# 平成28年度(第6期)

# 事業計画 (変更計画) 書及び収支予算書

平成28年6月13日付け変更(平成28年度第1回定例理事会決議事項)

・自動車産業特別支援における、受発注情報収集提供事業に、営業力向上支援を追加

☆ 益 みやぎ産業振興機構

# 目 次

# 《平成28年度事業計画》

Ι	基本方針	1
П	実施事業	2
1	販路拡大支援等事業	2
	(1)みやぎの中小企業マーケティング活動支援事業	2
	(2) 髙付加価値型ビジネスマッチング支援事業	2
	(3) 宮城県 WEB マーケティング強化支援事業	3
2	2 産学官連携推進・研究開発支援等事業	3
	(1) 産学・地域共同ビジネスマッチング事業	3
	(2)産業人材育成支援事業	4
	(3) 新産業インキュベート型支援事業	5
	(4) 提案公募型技術開発事業	5
	(5)研究開発型施設管理運営事業	5
	(6)宮城県中小企業外国出願支援事業	5
	(7)新産業創出研究支援事業	6
3	3 宮城・仙台富県チャレンジ応援基金事業	6
4	! 経営革新・創業支援事業	6
5	5 アグリビジネス・チャレンジ支援事業	8
6	5 宮城県中小企業再生支援協議会事業	10
7	′ 宮城県産業復興相談センター事業	10
	(1)総合窓口相談・債権買取支援	10
	(2) 再生計画策定支援	11
	(3) 事業引継ぎ支援センター	11
8	3 経営改善支援センター事業	11
ç	9 取引支援事業	12
	(1) 取引あっせん事業	12
	(2) 受発注情報収集提供事業	13

	(3) 助言・指導事業	13
	【自動車産業特別支援 再掲】	13
10	金融支援事業	15
	(1) 被災中小企業施設・設備整備支援事業	15
	(2) 中小企業災害復旧資金利子補給助成金事業	15
	(3)中小企業再生支援利子補給助成金事業	16
	(4) 設備貸与事業	16
	(5) 設備資金貸付事業	16
	(6) 企業振興投資事業	16
	(7) 中小企業再生特別保証制度	16
	(8) 中小企業創出支援ファンド事業	16
	(9)機械類貸与事業	16
	(10) 債権管理	17
1	正味財産増減予算書	.18
2	正味財産増減予算書内訳表	.20
	(参考) 1 資金収支予算書	.22
	2 資金収支予算書内訳表	.26

# 平成28年度事業計画

## I 基本方針

平成 27 年のわが国経済は、デフレ環境を脱却し、およそ四半世紀ぶりの良好な状況に達しつつある。この背景として、「三本の矢」の政策の一体的推進により、デフレ脱却・経済再生と財政健全化の双方を進めてきた下で、マクロ経済が大きく転換し、企業や家計マインドが大きく変化したことがあげられる。企業収益の改善が雇用・所得環境の改善に結び付き、消費や投資の改善に結び付く「経済の好循環」が生まれ、景気を前向きに進めるメカニズムとなってきた。

今後については、好循環のメカニズムが強化され、景気が緩やかに回復していくと ともに、持続的な成長へつながることが期待される。

最近の宮城県経済の動向をみると、公共投資や求人倍率は高水準で推移しており、 基調としては緩やかに回復している。

宮城県は、ものづくり産業の復興やインフラ整備の充実など、震災からの復興を進めながら「宮城の将来ビジョン」に掲げる将来像の実現を引き続き図っていく。また、中小企業・小規模事業者の振興を県政の重要課題の一つと位置付け、平成 28 年度から3ヶ年計画となる「宮城県中小企業・小規模事業者振興基本計画」を策定する方針である。

このような下で、公益財団法人みやぎ産業振興機構は、宮城県の中核的産業支援機関としての役割を果たしていくために、保有する経営資源を有効に活用し、「現場主義」を実践しながら中小企業等へのトータルサポートを実現していく。そのためにも、既存の支援活動を継続しながら新たな課題への対応や期待に応えるために支援体制の充実を図っていかなければならない。

中小企業者の製品・技術等の販路拡大支援を強化するために始動したマーケティング活動への支援やWEBを使った取引拡大の活動への支援については、売れる製品となるまでの一貫支援や情報発信に関する支援の充実を図っていく。

また、新たな取組みとして、沿岸部の基幹産業である水産加工業について「ものづくり産業」として捉え直し、水産加工業の再生・持続的な発展のため、関係機関と連携して整備する伴走型支援体制の中心的役割として、生産性改善等を支援する事業を展開する。

あわせて、生産革新や産学連携に精通し専門的知見を有するテクニカルアドバイザーが加わったプロジェクトチームにおいては、創業者・中小企業者の新事業創出や経営革新、第二創業への支援活動において、その機能性や他部署との連動性をさらに高めて展開する。

## Ⅱ 実施事業

### 1 販路拡大支援等事業

中小企業者の商品・製品や技術の「売り込み」を積極的に支援していくため、 首都圏等で活動する専門家等を活用し、販路開拓や商談ニーズの把握、提案会等 の実施による取引機会創出を行う。また、中小企業者が研究開発、試作段階を経 て生み出した新たな製品等の市場投入に向けたマーケティング活動やWEBを使 った製品等の取引拡大の活動なども支援する。

## (1) みやぎの中小企業マーケティング活動支援事業 【予算額 47,270 千円】

みやぎの中小企業マーケティング活動支援事業と宮城県ものづくり企業販売力等育成支援事業を統合。県内ものづくり中小企業者が研究開発、試作段階を経て生み出した製品や商品及び販売戦略のブラッシュアップを図り、首都圏をはじめとした国内外での販路拡大を一貫支援するため、外部専門家による国内外へのマーケティング活動に関する業務委託や、そのコネクションを活用した新規商談先との引合せ、さらに特定企業への個別提案会を開催する。

設定目標: マーケティング活動支援件数 16 件(海外展開型 4 件、市場投入型 12 件) 販路開拓支援件数 20 件

(平成 27 年度実施状況:\*1 支援件数 11 件 \*2 支援企業数 10 社 引合せ件数 25 件 商談当初成約額 130 千円 (累計成約額 450,955 千円 セミナー 2 回)

※平成27年度実施状況は、みやぎの中小企業マーケティング 活動支援事業※1及び宮城県ものづくり企業販売力等育成支 援事業※2の実績。

(平成27年度実施状況は平成28年1月末現在。以下同じ。)

## (2) 高付加価値型ビジネスマッチング支援事業 【予算額 16,000 千円】

国庫補助事業であった高付加価値型ビジネスマッチング強化支援事業を継承して県の補助事業となって事業名称を変更。中小企業者の商品や製品、技術の効果的な売り込みや引合せの機会創出により販路拡大を図るため、首都圏配置のマッチング専門員(航空機、医療、電子機器)が開拓した発注企業ニーズと中小企業者の持つシーズによるビジネスマッチングや提案会、産学・地域共同次世代技術展開催事業と連携した高度電子機械産業関連分野を対象とする商談会を開催する。また、医療関連企業の紹介冊子を作成し、県内シーズの情報発信を行う。

○ 設定目標: 成約件数 20 件 開拓ニーズに対する商談会 1 回・提案会 5 回

企業紹介冊子作成1分野

(平成27年度実施状況:成約件数1件 提案会4回)

## (3) **宮城県 WEB マーケティング強化支援事業** 【予算額 3,313 千円】

受注先の確保が困難な中小企業者の販路開拓・取引拡大のため、インターネットを使った製品等の取引拡大の活動などを支援する。具体的には、WEB上の専用ページ開設による情報発信や WEB を使ったマーケティング活動の普及に関するセミナー開催のほか、小規模企業者のWEBサイト開設のための専門家を派遣する。

○ 設定目標: 専用ページ登録企業数 100 社 セミナー開催1回 WEB サ

イト開設支援企業数30社

(平成 27 年度実施状況:専用ページ登録企業数 89 社 セミ

ナー開催1回 WEB サイト開設支援企業数20社)

## 2 産学官連携推進・研究開発支援等事業

中小企業者の新たな事業展開を促進するため、学術研究機関及び公設試験研究機関等のシーズを活用した研究開発推進のコーディネートや、ものづくり産業の復興・新産業創出のための拠点施設管理の運営、さらに次世代を担う若手経営者、後継者及びものづくり現場の指導者等の人材育成、中小企業者の外国出願に係る費用の一部を支援する。

なお、事業実施財源となる新基金の造成に伴い、事業内容の見直しを行うとともに、産学連携のみならず産産連携による支援を促進する。

#### (1) 産学・地域共同ビジネスマッチング事業

【予算額 6,645 千円】

① 産学・地域共同次世代技術展開催事業

産学官連携フェア開催事業の発展事業として事業名称も変更。中小企業者の産 学連携マインドの醸成を図り、産学連携や産産連携による新技術・新製品の研究 開発等に係る事業展開を促進するため、研究成果や商品開発成果等の発表、技術 展示を行う展示会の開催や研究開発推進のコーディネートを行う。なお、展示会 は後掲の取引商談会開催事業で実施する商談会と併せて開催し、集客力向上やマ ッチングの拡大を目指す。 ○ 設定目標: 出展者数 50 機関 来場者数 1,000 人

(平成 27 年度実施状況:出展者数 51 機関 来場者数 906 人) ※平成 27 年度実施状況は、産学官連携フェア開催事業の実績。

## ② みやぎ優れ MONO 支援事業

「みやぎ優れ MONO」に認定された中小企業者の工業製品の販路開拓を支援するため、情報発信と機構の各種支援事業の活用を促す。

○ 設定目標: 認定回数1回 (平成27年度実施状況:認定回数1回)

## ③ 交流事業・研修指導事業

産学官交流を促進するため、一般社団法人みやぎ工業会との共催により、学術研究機関及び公設試験研究機関等の研究者や中小企業経営者等が一堂に会する場を提供する。

○ 設定目標: 開催回数1回

(平成27年度実施状況:開催回数1回)

#### (2) 産業人材育成支援事業

【予算額 7,165 千円】

#### ① 経営革新講座

中小企業者の次世代を担う若手経営者や後継者の育成を図るため、座学や現場視察を交えた経営に役立つ実践的なゼミ形式の講座を開催する。

○ 設定目標: 開催回数1回 受講者数10人

(平成 27 年度実施状況:開催回数 1 回 (全 6 日) 受講者数 11 人)

#### ② 宮城県ものづくりシニア指導者育成事業

ものづくり中小企業者の収益性や生産性の向上、雇用の創出等を向上させるため、ものづくり中小企業者の経営革新や技術高度化等の多様な課題解決に向けた総合的な支援人材を育成するための講座を開催する。

設定目標: 開催回数2回(基礎1回 ステップアップ1回) 受講者数25人(基礎15人 ステップアップ10人)

(平成 27 年度実施状況:開催回数 1 回 (全 17 日) 受講者数 10 人)

## (3) 新産業インキュベート型支援事業

【予算額 925 千円】

## ① みやぎ型オープンイノベーション推進支援事業

事業実施財源となる基金の見直しに伴い、事業規模を縮小するとともに技術振興事業から事業名称も変更。学術研究機関及び公設試験研究機関等と中小企業者による新規事業創出を目指した新たな研究会の形成や、「技術」における産学連携や産産連携を促進するため、研究会活動の費用の一部を支援する。

○ 設定目標: 支援件数3件 (平成27年度実施状況:7件)

※平成 27 年度実施状況は、技術振興事業(プロジェクト創出 研究会助成支援)の実績。

## (4)提案公募型技術開発事業

【予算額 227,580 千円】

国等の公募型の競争的資金の活用促進を図るため、産学連携共同研究会の申請 手続支援から新技術・新商品開発・実用化等に至るまで、管理機関として総合的 なコーディネートを行う。

○ 設定目標: 支援7件(サポイン新規2件 継続4件 ものづくり中小企 業・小規模事業者連携支援事業継続1件)

(平成 27 年度実施状況:サポイン新規4件 継続1件 A-STEP継続1件 ものづくり中小企業・小規模事業者連携 支援事業新規1件)

#### (5) 研究開発型施設管理運営事業

【予算額 91,323 千円】

#### ① みやぎ復興パーク事業

新たな事業展開を図ろうとする中小企業者や、学術研究機関の新産業創出・発展を図るため、活動拠点としての施設を貸出し、その管理運営を行う。

○ 設定目標: 入居率 60% (平成 27 年度実施状況:入居率 58%)

#### (6) 宮城県中小企業外国出願支援事業

【予算額 5,100 千円】

特許、実用新案、意匠、商標、及び冒認対策商標を外国において活用しようとする中小企業者に対し、戦略的な外国への特許出願等を促進するため、外国特許出願等に要する経費の一部を支援する。

○ 設定目標: 支援企業数6社 (平成27年度実施状況:6社6件)

## (7)新産業創出研究支援事業

## ① 次世代シーズ発掘・コーディネート事業

新産業創出のため、次世代シーズを発掘し、当該シーズの事業化・市場化を促進するためのサポートやコーディネートを行う。具体的には、中小企業者や学術研究機関及び公設試験研究機関等を訪問し、産学連携や産産連携によるマッチングを行う。

設定目標: シーズ・ニーズ発掘件数 60 件 マッチング件数 12 件マッチング成約件数 2 件

(予算額は「(3)新産業インキュベート型支援事業」予算額に一括記載。)

#### 3 宮城・仙台富県チャレンジ応援基金事業

【予算額 233,828 千円】

中小企業者が地域資源等を活用した創業や新事業展開、産学連携による新技術・新製品開発や新サービス及び高付加価値サービス等を創出し、事業化を促進するため、その必要な研究開発資金の一部を支援する。

○ 設定目標: 採択件数 30 件 (平成 27 年度実施状況:採択件数 50 件)

## 4 経営革新・創業支援事業

【予算額 261,770 千円】

中小企業者の経営基盤強化や企業力向上を図るため、経営革新や創業、震災復興を行う際の経営課題等に関する各種支援を連携して実施する。

#### ① 宮城県復興企業相談助言事業

被災中小企業者の計画的な復興や各種相談に対応するため、登録専門家を派遣 し課題解決に向けた助言を行う。

○ 設定目標: 実施回数 190 回 (平成 27 年度実施状況:実施回数 176 回)

## ② 窓口相談事業

中小企業者の各種相談に対応するため、職員や登録専門家による課題解決に向けた助言やコーディネートを行う。

○ 設定目標: 相談件数 72 件 (平成 27 年度実施状況: 28 件)

#### ③ 移動相談会

中小企業者の各種相談に対応するため、各分野の登録専門家等を県内各地域に 派遣して個別対応や相談会を開催し、課題解決に向けた助言を行う。

設定目標: テーマ別相談会9件(3回)・訪問型対応30件(30回)(平成27年度実施状況:会場型5件(2回) 現場訪問型21件(25回))

## ④ 専門家派遣事業

中小企業者の各種相談に対応するため、登録専門家を派遣し課題解決に向けた 助言を行う。また、復興企業相談助言事業の補完事業として活用する。

設定目標: 実施回数 50 回(10 社)(平成 27 年度実施状況: 実施回数 62 回(17 社))

## ⑤ 実践経営塾

中小企業者の事業計画をブラッシュアップして企業力向上を図るため、「ビジネスプラン支援プロジェクト」による本塾を支援企業の経営戦略会議と位置付け、「幅広い知識」や「優れた目利き能力」を持つシニアアドバイザーやビジネスアドバイザー等を活用し、専門的視点と豊富な経験からビジネスプランや経営課題に対する助言を行う。

設定目標: 44回(延べ52社)(平成27年度実施状況:46回(延べ50社 実企業数29社))

#### ⑥ 被災地再生創業支援事業

被災地(沿岸15市町)における新たな産業創出を推進するため、被災地で創業する者、または創業3年以内の者に対し、そのスタートアップ資金を支援する。

○ 設定目標: 採択件数 30 件 (平成 27 年度実施状況:採択件数 30 件)

#### ⑦ 復興企業フォローアップ事業

県の受託事業から補助事業に変更。被災中小企業施設・設備整備支援事業の利用企業に対する支援効果を高めるため、企業支援専門員が巡回し、事業遂行上の課題の分析及び助言を行う。

また、専門知識を要する課題解決に向けては、外部専門家を派遣し助言を行う。

設定目標: 訪問延件数 420 件 外部専門家派遣 120 回(平成 27 年度実施状況: 訪問延件数 569 件 セミナー開催 2回)

## ⑧ 水産加工業ビジネス復興支援事業(※新規)

沿岸部の基幹産業である水産加工業を「ものづくり産業」として捉え直し、水産加工業の再生・持続的な発展のため、関係機関と連携して伴走型支援体制を整備する。また、生産改善活動や協業促進に向けた機運醸成を図る自主勉強会活動をサポートし、活動資金の一部を支援する。

○ 設定目標: 生産性改善支援5社 自主勉強会支援5グループ

## 5 アグリビジネス・チャレンジ支援事業

【予算額 33,097 千円】

県内農業者やアグリビジネス経営体の震災からの復興を支援するとともに、早期復興を果たした生産者やアグリビジネス経営体に対し、マネジメントスキル、企業的経営力の実践と経営革新による経営発展、組織力の強化を支援する。

また、経営ステージに応じた講座を開催してアグリビジネスプランの構築と経営課題解決能力の習得を支援するとともに、商品の訴求力と経営体の商談力、営業力の向上及びビジネスマッチングの機会を提供して販路開拓を支援する。

## ① アグリビジネス入門講座 (農業経営体養成基礎講座)

アグリビジネスの展開において必要となる事業構想・商品開発等のアイディア を具体化するための知識と技術の習得を支援するとともに、組織力の強化とア グリビジネス経営体としての成長を促すため、経営者及び従業員のビジネス基 本スキル及びマナー等の向上を図る講座を開催する。

○ 設定目標: 開催回数 2 回 受講者数 30 人 (平成 27 年度実施状況:開催回数 4 回 受講者数 59 人)

#### ② アグリビジネス実践講座 (アグリビジネス経営体養成講座)

実践的なビジネスプランの構築を支援するため、アグリビジネスの起業や新事業展開に必要な知識と事業運営のポイントを体系的に習得する講座を開催する。

○ 設定目標: 開催回数1回 受講者数15人 (平成27年度実施状況:開催回数1回 受講者数12人)

#### ③ アグリビジネス経営革新講座 (アグリビジネスマネージメントセミナー)

経営者層のマネジメントスキル向上を支援するため、経営管理で必要なテーマを定め、講師陣とのディスカッションを中心とした少人数制の講座を開催する。

○ 設定目標: 開催回数2回 受講者数10人 (平成27年度実施状況:開催回数2回 受講者数13名)

#### ④ 農業経営体育成支援

新たな加工・流通や経営革新に取り組む意欲ある農業者等に対して経営課題 抽出やビジネスプランの実現を促進するため、現地訪問による助言を行う。

○ 設定目標: 支援先 40 経営体 (平成 27 年度実施状況:56 経営体)

## ⑤ アグリビジネスステージアップ支援

「儲かる仕組み」づくりと経営力の向上を支援するため、ビジネスアドバイザー等の専門家を計画的に派遣し、ビジネスプランのブラッシュアップや経営課題の解決に向けたディスカッションや助言を行う。

設定目標: 派遣回数:一般課題解決型 45 回 複合課題解決型 32 回(平成 27 年度実施状況: 70 回)

#### ⑥ 農産物販売ビジネス支援

商品力・商談力の向上のため、展示商談会の出展機会を活用し、販路開拓や来場者との商談等マッチングのサポートを行う。

また、売れる商品づくりを支援するため、試験販売等を通して商品のブラッシュアップに係る助言を行うほか、加工・業務を始め販売先や取引先の開拓を行なうとともにニーズや市場動向等の調査を実施する。

○ 設定目標: 商談会(出展支援)1回 出展企業数8事業者 試験販売支援 企業数3企業

(平成 27 年度実施状況:商談会(出展支援) 1回 出展企業数8事業者 試験販売支援企業数5企業)

## ⑦ アグリビジネス復興戦略塾

復興を契機に設立した農業法人等の経営体の組織力・企業力の向上を支援するため、アグリビジネスコーディネーター、ビジネスアドバイザー等による事業計画のブラッシュアップや経営課題の解決に向けた経営戦略会議(復興戦略塾)を開催し、専門的な助言を行う。

○ 設定目標: 開催回数 30回 (平成 27年度実施状況:開催回数 18回)

#### 6 宮城県中小企業再生支援協議会事業

財務内容の悪化等により経営に支障が生じているものの、再生可能性の見込みがある中小企業者に対し、再生計画の策定を支援するため、中小企業者の取引金融機関が原案策定を支援した計画に対し、その妥当性を調査・確認するとともに、中立公正な立場で債権者間の調整を行う。

本年度は、中小企業者の抜本的な事業再生に向け質の高い支援を実施するとともに、引き続き他の中小企業支援機関と連携し、経営再建計画の実現可能性を高めるべくモニタリングに注力する。

(予算額及び設定目標は「7 宮城県産業復興相談センター事業 再生計画策 定支援」に一括記載。)

#### 7 宮城県産業復興相談センター事業

【予算額 721,813 千円】

被災中小企業者の事業再開を支援するため、中小企業者の相談に幅広く対応する。具体的には、事業計画・再生計画の策定、宮城産業復興機構による債権買取 や、事業の引継ぎ・一部譲度のサポートにより支援を行う。

## (1)総合窓口相談・債権買取支援

被災中小企業者の再生に係る多様な経営相談に対応するため、引き続き課題の 解決に向けた適切な助言や県内各地で相談会を開催する。併せて、相談窓口の活 用や債権買取等に関する支援情報を発信する。

また、再生可能性があるものの、詳細な再生計画の策定支援が難しく、債権買取支援を行うことが適当と判断した場合には、金融機関等と交渉し復興機構による債権買取の実現を図る。

○ 設定目標: 債権買取企業数 12 社 (平成 27 年度実施状況: 9 社)

#### (2) 再生計画策定支援

財務内容の悪化等により経営に支障が生じているものの、再生可能性の見込みがある中小企業者に対し、再生計画の策定を支援するため、中小企業者の取引金融機関が原案策定を支援した計画に対し、その妥当性を調査・確認するとともに、中立公正な立場で債権者間の調整を行う。

本年度は、中小企業者の抜本的な事業再生に向け、質の高い支援を実施すると ともに、引き続き他の中小企業支援機関と連携し、経営再建計画の実現可能性を 高めるべくモニタリングに注力する。

○ 設定目標: 1次対応(窓口相談)企業数 70 社 2次対応(再生計画策定 支援)選定企業数 45 社

> (平成 27 年度実施状況: 1 次対応企業数 43 社 2 次対応選 定企業数 32 社)

## (3) 事業引継ぎ支援センター

事業活動の継続に関して課題や悩みを抱えている中小企業者の各種相談に対応するとともに、経営資源を有効活用した円滑な事業承継等を促すため、各地域の関係機関や専門家等と連携し、合併や事業の譲受け等による他の意欲ある中小企業者や創業者への事業引継ぎをサポートする。

また、事業引継ぎ支援を広く周知するため、よろず支援拠点・再生支援協議会 や各種支援機関と連携して広報活動やセミナー開催を行うほか、事業引継ぎの実 現に向けて各種士業のネットワークも活用する。

設定目標: 1次対応(窓口相談)企業数 150 社 2次対応企業数 10 社 3 次対応企業数 30 社

(平成 27 年度実施状況: 1 次対応企業数 96 社 2 次対応企業数 4 社 3 次対応企業数 20 社)

#### 8 経営改善支援センター事業

【予算額 100,412 千円】

中小企業者の経営改善・事業再生への取組みを支援するため、経営上の問題を抱え、業績改善を図るために経営改善計画等の作成・実施を必要とする中小企業者が、認定支援機関に経営改善計画の策定を依頼する際に、経営改善支援センターがその費用の一部を負担する。

また、中小企業者の改善計画策定の促進に向けて事業の周知徹底を図るため、 公認会計士や税理士等の認定支援機関を対象とする説明会等を適宜開催する。 ○ 設定目標: 申請企業数 120 社

(平成27年度実施状況:申請企業数43社)

## 9 取引支援事業

【予算額 72,565 千円】

受発注取引を行う中小企業者の経営基盤強化を推進するため、受発注取引拡大 に向けた取引あっせんを行う。

具体的には、取引あっせんに繋がる情報収集・提供等を行い、個別企業ごとの取引あっせんを行うほか、受発注企業が一堂に会する商談会を開催する。また、産業集積が加速している自動車関連産業分野をはじめ、特定市場分野への取引あっせん等を推進する。

#### (1)取引あっせん事業

## ① 個別取引あっせん事業

受発注取引を行う中小企業者の新規取引先開拓や受発注取引拡大を支援する ため、受発注情報収集活動事業(後掲)等で収集した情報を活かし、中小企業 者のニーズ・シーズに基づく個別取引あっせんを行う。

設定目標: あっせん成立件数 45 件(平成 27 年度実施状況:成立件数 36 件)

## ② 取引商談会開催事業

受発注取引を行う中小企業者が新規取引先開拓や受発注取引拡大の機会を効率的かつ効果的に得られるようにするため、受発注企業が一堂に会して商談や情報交換を行う商談会を開催する。

具体的には、首都圏を中心とする大手発注企業を招聘した当県単独の商談会や山形・福島との合同商談会のほか、テーマを絞った商談会を産学・地域共同次世代技術展開催事業と併せて開催する。また、中小企業者が主体的に取り組む展示商談会への出展活動を促進するため、出展費用の一部を支援する。

〇 設定目標: 開催回数 5 回 商談成立件数 95 件 展示会出展支援 50 社 (平成 27 年度実施状況:開催回数 4 回 成立件数 114 件 展示会出展支援 41 社)

#### (2) 受発注情報収集提供事業

## ① 受発注情報収集・提供

取引あっせんの確度を高めるため、県内外の発注企業からの具体的な発注情報や中小企業者の操業状況・保有設備・技術等の企業情報を収集する。

情報提供では、企業名鑑を作成して発注企業へ配布するほか、発注情報や商 談会等の各種支援情報をファクシミリー斉送信で広く発信する。

○ 設定目標: 発注開拓件数 340 件 受注企業訪問件数 550 件 (平成 27 年度実施状況:発注開拓件数 366 件 受注企業訪問件数 377 件)

#### ② 受注企業生産状況調査

県内受注企業の業種別動向を把握するため、操業状況について四半期毎に書面調査を行い、ホームページを通して中小企業者に広く情報提供する。

○ 設定目標: 実施回数4回 (平成27年度実施状況:実施回数3回)

## ③ 発注企業外注動向調査

県内外の発注企業の外注動向を把握するため、外注性の高い企業延べ 2,400 社に対し、具体的な発注情報の収集をはじめとする書面調査を行う。

○ 設定目標: 実施回数2回 (平成27年度実施状況:実施回数1回)

#### (3) 助言・指導事業

#### ① 下請かけこみ寺事業

下請取引の適正化を推進するため、常駐相談員や弁護士等が取引トラブルに 関する各種相談に対応するとともに、トラブルの未然防止に向けた助言を行う。 また、沿岸被災地をはじめとする各地域での説明会や移動相談会を引き続き 開催する。

○ 設定目標: 移動相談会等 10 回 相談対応件数 200 件 (平成 27 年度実施状況:相談会等 9 回 対応件数 309 件)

#### 【自動車産業特別支援 再掲】

【予算額 6,007 千円】

① 取引あっせん事業 イ 個別取引あっせん

受発注取引を行う中小企業者の新規取引先開拓や受発注取引拡大を支援する ため、受発注情報収集活動事業等で収集した情報を活かし、中小企業者のニーズ・シーズに基づく個別取引あっせんを行う。

設定目標: あっせん成立件数 15 件(平成 27 年度実施状況:成立件数 11 件)

#### ロ取引商談会の開催

受発注取引を行う中小企業者が新規取引先開拓や受発注取引拡大の機会を効率的かつ効果的に得られるようにするため、自動車関連産業メーカーをターゲットとした個別商談会を開催する。

また、北海道、東北各県及び新潟県が合同で開催する技術展示商談会では、中小企業者の出展募集や、当該展示商談会を有効に活用するための助言を行う。

○ 設定目標: 開催回数2回 商談成立件数5件 (平成27年度実施状況:開催回数2回 成立件数0件)

## ② 受発注情報収集提供事業

#### イ 受発注企業情報収集

取引あっせんの確度を高めるため、県内外の発注企業からの具体的な発注情報や中小企業者の操業状況・保有設備・技術等の企業情報を収集する。

また、自動車メーカー出身のテクニカルアドバイザーが中小企業者を訪問し、 生産現場改善に係る助言を行う。

〇 設定目標: 発注開拓件数 100 件 (平成 27 年度実施状況:発注開拓件数 95 件)

#### ロ 受注企業名簿等の作成

取引あっせんの確度を高めるため、中小企業者が保有する自動車関連産業向けに特化した個別シーズ(売りの技術)を掲載した企業名簿を作成し、県内外の発注企業に配布する。

設定目標: ガイドブック作成1回 (平成27年度実施状況:作成1回)

#### ハ 営業力向上支援

自動車関連産業への地元企業の新規参入・取引拡大を営業力強化の面から推進するため、自動車関連産業全般に精通し、且つ経営戦略の一環としての営業人材育成に豊富な経験を有する専門家を委嘱し、「営業力」「提案力」強化に係る個別企業支援やセミナーを開催する。

また、併せて中部圏の自動車産業関連企業を定期的に訪問し、地元企業の自動車関連産業参入・取引拡大に向けた効果的な営業戦略推進のための情報収集も行う。

○ 設定目標: 個別企業支援4社、セミナー1回

## 10 金融支援事業

【予算額 314,112 千円】

震災からの復旧・復興を目的として、被災中小企業者の施設・設備の整備を支援 するとともに、利子補給事業により利子負担軽減について支援する。

また、平成27年度から新たなスキームで始まった設備貸与事業において、経営革新を目指す小規模企業者等の機械設備の導入支援を行う。

## (1)被災中小企業施設・設備整備支援事業

被災中小企業者の迅速な復興支援を行うため、中小企業者の施設・設備の復日 整備に向けた事業遂行に必要な資金を無利子で貸し付ける。

○ 設定目標: 貸付決定 5,000,000 千円 決定企業数 50 社 (平成 27 年度実施状況:

貸付決定 3,832,410 千円 決定企業数 49 社

平成27年度までの累計:

総貸付決定 31,510,688 千円 総決定企業数 328 社 )

#### (2) 中小企業災害復旧資金利子補給助成金事業

被災中小企業者の迅速な復興支援にあたり、中小企業者が公的金融機関から特別被災融資を受けた借入金の利子負担を軽減するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構からの助成金により補填交付する。

設定目標: 補給額 102,362 千円 支援企業数 1,500 社(平成 27 年度実施予定:補給額 108,366 千円 支援企業数 1,588 社)

#### (3)中小企業再生支援利子補給助成金事業

被災中小企業者の迅速な復興支援にあたり、中小企業者が産業復興相談センターを活用して取り組む事業再建資金について、債権買取及び再生計画若しくは事業計画の対象となる借入金の利子負担を軽減するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構からの助成金により補填交付する。

設定目標: 補給額 69,000 千円 支援企業数 30 社(平成 27 年度実施状況:補給額 48,703 千円 支援企業数 21 社)

## (4) 設備貸与事業

独立行政法人中小企業基盤整備機構の高度化事業の貸付スキームを利用し、経 営革新を目指す小規模企業者等の機械設備導入を促すため、機構が利用者の指定 する販売会社等から機械設備を購入し、長期・低利の割賦販売を行う。

設定目標: 貸与額 150,000 千円 支援企業数 10 社(平成 27 年度実施状況:貸与額 39,090 千円 支援企業数 3 社)

#### (5)設備資金貸付事業

平成26年度で貸付業務を終了。回収・事後管理に努める。

#### (6)企業振興投資事業

平成26年度で私募債引受業務を終了。回収・事後管理に努める。

#### (7) 中小企業再生特別保証制度

平成 23 年度で債務保証業務を終了。取扱金融機関との連携により、モニタリング会議等において支援企業の現況把握等を行う。

#### (8) 中小企業創出支援ファンド事業

地域におけるベンチャー企業の創出や中小企業者の経営高度化等を支援するため、ベンチャーファンド(投資事業有限責任組合)へ出資を行っている。

#### (9) 機械類貸与事業

平成19年度で貸付業務を終了。回収・事後管理に努める。

## (10) 債権管理

上記の事業から生じる金融支援債権のうち、正常債権については巡回訪問等による財務状況の把握や他事業等との連携支援により未収債権発生の抑制に努めるほか、未収債権についても顧問弁護士の活用等により効率的・効果的な回収促進に努める。

#### 1. 正味財産増減予算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

	科 目	予	算 額	前年度予算額	比較増減(△)	(単位:十円) 備	 考
[ 一般正	三味財産増減の部						
	<b>営増減の部</b>						
(1)経常							
1	基本財産運用益		6, 06	3 6,063	0		
	基本財産利息		1, 45	4 1,454	0		
	基本財産配当金	İ	4, 60	9 . 4,609	0		
2	特定資産運用益		207, 29	8 202, 708	4, 590		
	特定資産利息		207, 29	8 202, 708	4, 590		
3	事業収益		969, 76	3 1, 379, 870	△ 410,107		
	割賦販売収益		115, 22	8 157, 574	△ 42,346		
	割赋設備収益		107, 96	0 149, 493	△ 41,533		
	受取割賦損料		7, 26	8, 081	△ 813		
	受取リース料		3, 24	8 6, 243	△ 2,995		
	受取再リース料		3, 56	9 4,830	△ 1,261		
	保険代理手数料収益		15	Į.	1		
	投資有価証券受取収益	ļ	3, 44	0 5, 100	△ 1,660		
	社債受取利息収益		3, 44	1	1		
	債務保証手数料収益			0 1, 138	1		
	委託料収益		844, 01				
	リース投資資産売却収益		10	· ·			
Ø	受取補助金等		697, 44				
_	受取用補助金		460, 13		1		
					ŧ I		
	受取国補助金		229, 68				
	助成金収入		7, 63				
_	受取負担金		115, 36	1			
	受取負担金		115, 36	1	1		
(6)	維収益		53, 06				
	受取利息		29				
	貸倒引当金戻入益		14, 27				
	退職給付引当金戻入		15, 13	1	E .		
	共済年金引当金戻入		90		1		
	雑収益		22, 48	10,879	4		
	経常収益 計		2, 048, 98	2, 117, 134	△ 68, 145		
(2)経常	常費用						
1	事業費		2, 144, 41	2, 221, 246	△ 76,834	1,	
	割賦販売原価		107, 96	149, 493	△ 41,533		
	リース販売原価		3, 17	70 5, 661	△ 2,491		
	支払助成金		285, 82	180, 644	1		
	役員報酬		6, 11	1	15		
	給料手当		310, 28	i	1		
	給料負担金		75, 90		1		
	賃金		7, 98	· ·			
	退職給付金	İ	18, 97		1		
	共済年金引当金繰入		91	1	1		
	福利厚生費	1	80, 84		1		
	個利學生質 賞与引当金繰入		12, 88		1		
				ļ.	i		
	退職給付引当金繰入		11, 58	<b>F</b>			
	旅費交通費		64, 18	1			
	リース設備減価償却費		1	0 254			
	減価償却費		11, 37		1		
•	消耗品費		14, 17				
	車両費		6, 36		1		
	印刷製本費		11, 10	1			
	会議費		1, 7	E .	1		
	水道光熱費	1 .	31, 62				
	通信運搬費		12, 43				
	新聞図書費		1, 76	1,901	1		
	修繕費		1, 39	95 1, 227	7 168		
	借料及び損料	1	72, 4	59 80, 425	△ 7,966		
	リース損害保険料		:	20 47	△ 27		
	保険料	- [	1, 2	1, 634	△ 419		

	算 額	前年度予算額	比較増減(△)	備考
諸謝金	234, 937	293, 059	△ 58,122	
公租公課	34, 562	44, 819	△ 10,257	
リース投資資産固定資産税	1,080	1, 262	△ 182	
その他公租公課	33, 482	43, 557	△ 10,075	
支払委託費	674, 321	558, 545	115, 776	
支払事務委託費	4, 812	5, 678	△ 866	
支払負担金	29, 228	31, 878	△ 2,650	
支払利息	4, 895	6, 557	△ 1,662	
広告宣伝費	8, 911	12, 439	△ 3,528	-
交際費	284	424	△ 140	
雑費	112	253	△ 141	
② 管理費	36, 041	26, 431	9, 610	
役員報酬	4, 880	4, 763	117	
給料手当	13, 840	6, 225	7, 615	•
退職給付金	0	1, 596	△ 1,596	
福利厚生費	3, 018	2, 360	658	•
賞与引当金繰入	1, 177	586	591	
退職給付引当金繰入	843	1, 579	△ 736	
旅費交通費	596	460	136	
減価償却費	376	492	△ 116	
消耗品費	392	380	12	
車両費	198	. 5	193	
印刷製本費	110	200	△ 90	
会議費	210	200	10	
水道光熱費	87	50	. 37	
通信運搬費	179	100	79	
新聞図書費	10	10	0	
修辞費	2, 090	1,400	690	
借料及び損料	1, 599	1, 150	449	
保険料	65	4	61	
諸謝金	3, 563	3, 500	63	
公租公課	800	10	790	*
支払委託費	518	175	343	
支払事務委託費	50	50	0	
支払負担金	974	976	△ 2	
広告宣伝費	10	10	0	•
交際費	256	100	156	
雑費	200	50	150	
経常費用 計	2, 180, 453	2, 247, 677	△ 67,224	
当期経常増減額	△ 131,464	△ 130, 543	△ 921	•
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
<b>県借入金免除益</b>	166, 175	27, 703	138, 472	•
経常外収益計	166, 175	27, 703	138, 472	
(2) 経常外費用				
貸倒損失	3, 338	0	3, 338	
除却損失	0	7, 980	△ 7,980	•
建物除却損	0	7, 272	△ 7,272	
建物付属設備除却損	0	708	△ 708	
経常外費用計	3, 338	7, 980	△ 4,642	
当期経常外増減額	162, 837	19, 723	143, 114	
当期一般正味財産増減額	31, 373	△ 110,820	142, 193	
一般正味財産期首残高	186, 202	305, 152	△ 118,950	
一般正味財産期末残商	217, 575	194, 332	23, 243	1
Ⅱ指定正味財産増減の部		,		
① 特定資産運用益				
特定資産受取利息	0	98	△ 98	
② 受取寄付金				
受取寄付金	△ 501,980	0	△ 501,980	
当期指定正味財産増減額	△ 501,980	98	△ 502,078	
指定正味財産期首残高	2, 589, 631	2, 589, 533	98	
指定正味財産期末残高	2,087,651	2, 589, 631	△ 501,980	•
Ⅲ 正味財産期末残高	2, 305, 226	2, 783, 963	△ 478, 737	

## 2. 正味財産增減予算書內訳表

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

	公益目的	事業会計						
科·目	中小企業等経営革 に経営基盤強化支		法人	会計	内部取	内部取引消去		<b>₽</b> ↑
`	予算額	前年度予算順	予算額	前年度予算額	予算額	前年度予算額	予算額	前年度予算額
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産運用益	0	0	6, 063	6,063	0	0	6, 063	6,063
基本財産利息	0	0	1,454	1, 454	0	0	1, 454	1, 454
基本財産配当金	0	. 0	4,609	4,609	0	. 0	4,609	4,609
② 特定資産運用益	207, 298	202, 708	0	. 0	0	0	207, 298	202, 708
特定資産利息	207, 298	202, 708	0	0	0	0	207, 298	202, 708
③ 事業収益	967, 613	1, 364, 061	2, 150	15, 809	0	0	969, 763	1, 379, 870
割赋贩壳収益	115, 228	157, 574	0	0	0	0	115, 228	157, 574
割赋設備収益	107, 960	149, 493	0	. 0	0	0	107, 960	149, 493
受取割賦損料	7, 268	8, 081	0	0	0	0	. 7, 268	8, 081
受取リース料	3, 248	6, 243	0	0	. 0	0	3, 248	6, 243
受取再リース料	3, 569	4, 830	0	0	0	0	3, 569	4, 830
保険代理手数料収益	. 0	0	150	162	0	0	150	162
投資有価証券受取収益	3, 440	5, 100	0	0	0	0	3, 440	5, 100
社債受取利息収益	3, 440	5, 100	0	. 0	0	0	3, 440	5, 100
<b>債務保証手数料収益</b>	0	1, 138	0	0	0	0	0	1, 138
委託料収益	842,019	1, 189, 029	2,000	15, 647	0	0	844, 019	1, 204, 676
リース投資資産売却収益	109	147	0	0	0	0	109	147
④ 受取補助金等	681,963	355, 329	15, 480	3, 725	0	0	697, 443	359, 054
受取県補助金	444, 651	343, 028	15, 480	3, 725	0	0	460, 131	346, 753
受取国補助金	229, 680	3, 600	0	0	0	0	229, 680	3,600
助成金収入	7, 632	8, 701	0	0	0	0	7, 632	8, 701
⑤ 受取負担金	112, 260	116, 615	8, 100	0	△ 5,000	0	115, 360	116, 615
受取負担金	112, 260	116, 615	. 8, 100	0	△ 5,000	0	115, 360	116, 615
⑥ 雑収益	50, 384	51, 511	2, 678	1, 313	0	0	53, 062	52, 824
受取利息	292	472	0	0	0	. 0	292	472
貸倒引当金戻入益	14, 276	7, 106	0	0	0	0	14, 276	7, 106
退職給付引当金戻入 共済年金引当金戻入	15, 130 906	31, 647 1, 470	0	1,250	0	0	15, 130 906	32, 897 1, 470
雑収益	19, 780	10, 816	2,678	63	0	0	22, 458	10, 879
経常収益 計	2, 019, 518	2, 090, 224	34, 471	26, 910	△ 5,000	0	2, 048, 989	2, 117, 134
REE II TO JUL H	2,015,015	2, 050, 221	92, 112	20, 510	<u> </u>		2,010,000	2,111,101
(2) 経常費用								
① 事業費	2, 149, 412	2, 221, 246	0	0	△ 5,000	- 0	2, 144, 412	2, 221, 246
削賦販売原価	107,960	149, 493	0	0	0	0	107, 960	149, 493
リース販売原価	3, 170	5, 661	0	0	0	0		5, 661
支払助成金	290, 828	180, 644	0	0	△ 5,000	. 0		180, 644
役員報酬	6, 112	6,097	0	0	0	0	6, 112	6,097
給料手当	310, 287	288, 151	. 0	. 0	0	0	310, 287	288, 151
給料負担金	75, 900	207, 272	0	0	0	0		207, 272
質金	7, 987	11, 565		0	0	0	7, 987	11,565
退職給付金	18, 979	38, 663	0	0	0	0	t	38, 663
共済年金引当金繰入	914	700	0	0	0	0		700
福利厚生費	80, 840	79, 770	0	0	0			79, 770
賞与引当金繰入	12, 888	14, 694	0	0	0			14, 694
退職給付引当金繰入	11, 558	35, 432	0	0	0		11, 558	35, 432
旅費交通費	64, 156	60, 197	0	0	0		,	60, 197
リース設備減価償却費	0	254		0	0	<u> </u>		
減価償却費	11, 373	21, 225		0	<u> </u>		,	
消耗品費	14, 174	20, 030	<del></del>	0	1		,	
車両費	6, 364	7, 222	0	0	0		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
印刷製本費	11, 165	10, 078			0		,	
会議費	1, 776	1, 240						
水道光熱費	31, 623	31, 190		0	0	1		
通信運搬費	12, 438	12, 782		0	0	4		
新聞図書費	1, 769	1, 901	0	0	0	1		
修繕費	1, 395	1, 227	<del></del>	0	0			
借料及び損料	72, 459	80, 425						<del></del>
リース損害保険料	- 20	. 47	\$100 to the contract of the co			<u> </u>		1
保険料	1, 215	1,634	0	0	0	0	1, 215	1,634

		事業会計					•		
科目	中小企業等経営革 に経営基盤強化支		法人	会計	内部取	引消去	合	<del>il ·</del>	
	于算额	前年度予算額	予算額	前年度予算額	予算額	前年度予算額	予算額	前年度予算額	
諸謝金	234, 937	293, 059	0	0	0	0	234, 937	293, 059	
公租公課	34, 562	44, 819	0	0	0	0	34, 562	44, 819	
リース投資資産固定資産税	1,080	1, 262	0	0	0	0	1, 080	1, 262	
その他公租公課	33, 482	43, 557	0	0	0	0	33, 482	43, 657	
支払委託費	674, 321	558, 545	0	0	0	0	674, 321	558, 545	
支払事務委託費 支払負担金	4, 812 29, 228	5, 678 31, 878	0	0	0	0	4, 812 29, 228	5, 678 31, 878	
支払利息	4, 895	6, 557	0	0	0	0	4, 895	6, 557	
広告宣伝費	8, 911	12, 439	0	0	0	0	8, 911	12, 439	
交際費	284	424	0.	. 0	0	0	284	424	
維費	112	253	0	0	0	0	112	253	
②管理費	0	0	36, 041	26, 431	0	0	36, 041	26, 431	
役員報酬	0	0	4, 880	4, 763	0	0	4, 880	4, 763	
<b>給料手当</b>	0	. 0	13, 840	6, 225	0	0	13, 840	6, 225	
<b>遠職給付金</b>	0	0	0	1, 596	. 0	0	0	1, 596	
共済年金引当金繰入	0	0	0	0	0	0	<u>0</u>	0	
福利厚生費	0	0	3, 018	2, 360	0	0	3, 018	2, 360	
賞与引当金繰入	0	0	1,177	586	0	0	1, 177	586	
退職給付引当金繰入 旅費交通費	0	0	843 596	1,579	0	0	843 596	1, 579 460	
減価償却費	0	0		460	0				
湖	0	0	376 392	492 380	0	0	376 392	492 380	
車両費	0	0	198	5	0	0	392 198	5	
印刷製本費	0	0	110	200	0	0	110	200	
会職費	0	0	210	200	0	0	210	200	
水道光熱費	0	0	87	50	0	0	87	50	
通信運搬費	0	0	179	100	0	0	179	100	
新閲図書費	0	0	10	10	0	0	10	10	
修繕費	0	0	2, 090	1, 400	0	0	2, 090	1, 400	
借料及び損料	0	0	1, 599	1, 150	0	0	1, 599	1, 150	
保険料 諸謝金・	0	0	65	3 500	0	0	65 3,563	3,500	
公租公課	0	0	3, 563 800	3,500	0	0	800	3,500	
支払委託費	0	. 0	518	175	0	0	518	175	
支払事務委託費	0	0	50	50	0	. 0	50	50	
支払負担金	0	0	974	976	0	0	974	976	
広告宣伝費	0	0	10	10	0	0	10	10	
交際費	0	0	256	100	0	0	256	100	
維費 2000年日 31	0 140 410	0 001 040	200	50	0 △ 5,000	0	200	50	
経常費用 計 当期経常增減額	2, 149, 412 △ 129, 894	2, 221, 246 \triangle 131, 022	36, 041 △ 1, 570	26, 431 479	∆ 5,000 0		2, 180, 453 \triangle 131, 464	2, 247, 677 \triangle 130, 543	
-1351/02 III - EI 1351 IN	24 125,004	23 101, 022	24 1,010	TIV			<u> </u>	<u> </u>	
2 経常外増減の部				_					
(1) 経常外収益				-					
界借入金免除益	166, 175	27, 703	0	0	0	0	166, 175	27, 703	
経常外収益計	166, 175	27, 703	0	0	0	0	166, 175	27, 703	
(2) 経常外費用	253, 210	~·, 100		U		<u> </u>	253, 2,0		
	3, 338	0	0	0	0	0	3, 338	0	
除却損失	3, 338	7, 980	0	0	0	0	0,000	7, 980	
建物除却損	ol	7, 272	0	0	0	0	0	7, 272	
	0	708	0	0	0	0.	0	708	
建物付属設備除却損	ļ				_				
経常外費用計	3, 338	7, 980	0	0	0	. 0	3, 338	7, 980	
当期経常外増減額	162, 837	19, 723	0	0	0	0	· · ·	19, 723	
当期一般正味財産増減額 一般正味財産期首残高	32, 943	△ 111, 299 298, 862	△ 1,570		. 0		<del></del>		
一般正味財産期末残高	179, 433 212, 376	298, 862 187, 563	6, 769 5, 199	6, 290 6, 769	0	i	· · _ · _ · _ · _ · _ · _ ·	194, 332	
	,,,,,	.,	.,	-, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -			.,		
II 指定正味財産増減の部									
① 特定資産運用益									
<b>特定資産受取利息</b>	0	98	0	0	0	0		98	
② 受取寄付金 受取寄付金	A EA1 00A	0	0	0	0	0	A EA1 000	C	
受取奇付金 当期指定正味財産増減額	△ 501, 980 △ 501, 980	98	0	0	0		△ 501,980 △ 501,980	98	
指定正味財産期首残高	2, 154, 025	2, 153, 927	435, 606					2, 589, 533	
当期指定正味財産增減額	1, 652, 045	2, 154, 025	435, 606	435, 606	0			2, 589, 631	
and the state of t		- 111111111						0 =00	
Ⅲ 正味財産期末残高	1, 864, 421	2, 341, 588	440, 805	442, 375	0	0	2, 305, 226	2, 783, 963	

# 1. 資 金 収 支 予 算 書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

	科目	予 算 額	前年度予算額	比較増減	備 考
	終活動収支の部				•••
1 事	F業活動収入				
①	基本財産運用収入	6, 063	6, 063	0	
	基本財産利息収入	1, 454	1, 454	0	
	基本財産配当金収入	4, 609	4, 609	0	
2	特定資産運用収入	507, 341	502, 942	4, 399	
	特定資產利息収入	507, 341	502, 942	4, 399	
3	事業収入	1, 277, 287	1, 630, 199	△ 352,912	
	設備資金貸付金回収収入	266, 219	189, 644	76, 575	
	割賦販売債権収入	115, 228	157, 574	△ 42, 346	
	割賦設備収入	107, 960	149, 493	△ 41,533	
	割賦損料収入	7, 268	8, 081	△ 813	
	割賦販売債権預り保証金収入	15, 000	15,000	0	
	リース料収入	3, 248	6, 243	△ 2, 995	· ·
	再リース料収入	3, 569	4, 830	△ 1, 261	
	保険代理手数料収入	150	162	Å 12	
	投資有価証券売却収入	13,000	36, 800	△ 23, 800	
	投資有価証券受取収入	3, 440	5, 100	△ 1,660	
	社債受取利息収入	3, 440	5, 100	△ 1,660	
	委託料収入	844, 019	1, 204, 676	△ 360,657	
	リース投資資産売却収入	109	147	△ 38	
	未収割賦損料回収収入	0	147	△ 147	
	未収割賦販売債権損害賠償金回収収入	13, 305	9, 876	3, 429	
4		697, 443	359, 054	338, 389	
	県補助金収入	460, 131	346, 753	113, 378	
	国補助金収入	229, 680	3, 600	226, 080	•
	助成金収入	7, 632	8, 701	△ 1,069	
<b>⑤</b>	負担金収入	115, 360	116, 615	△ 1,255	
	負担金収入	115, 360	116, 615	△ 1, 255	
6	11	22, 750	11, 351	11, 399	
	受取利息収入	292	472	△ 180	
	雑収入	22, 458	10, 879	11, 579	
	事業活動収入 計	2, 626, 244	2, 626, 224	. 20	
2 建	<b>F業活動支出</b>				
<b>2 3</b>		11, 175, 191	11, 194, 080	△ 18,889	
•	設備資金貸付金支出	9, 000, 000	9, 000, 000	0	
	割賦設備購入支出	150, 000	150, 000	0	
	割賦販売債権預り保証金返還支出	16, 408	35, 298	△ 18,890	
	機械類信用保険預り金返還支出	427	558	△ 131	
	助成金支出	285, 828	180, 644	105, 184	
	役員報酬支出	6, 112	6, 097	15	
	給料手当支出	322, 094	302, 588	19, 506	
	給料負担金支出	75, 900	207, 272	△ 131, 372	
	賃金支出	7, 987	11, 565	△ 3, 578	
	退職給付支出	18, 979	38, 663	△ 19,684	

	÷ ★1 □	the start	State that we have along	المحدد بلط بارا	(単位:千円)
Jugar et	科目	予 算 額	前年度予算額	比較増減	備    考
1	利厚生費支出	80, 840	79, 770	1, 070	
1	費交通費支出	64, 156	60, 197	3, 959	
	耗品費支出 まませい	14, 174	20,030	△ 5,856	
	可費支出	6, 364	7, 222	△ 858	
	初製本費支出 ************************************	11, 165	10, 078	1, 087	
	議費支出 ************************************	1, 776	1, 240	536	
	道光熱費支出	31, 623	31, 190	433	
1	信運搬費支出	12, 438	12, 782	△ 344	
	聞図書費支出 	1, 769	1, 901	△ 132	
1	<b>善費支出</b>	1, 395	1, 227	168	
	料及び損料支出	72, 459	80, 425	△ 7,966	
E .	ース損害保険料支出	20	47	△ 27	
1	<b>険料支出</b>	1, 215	1,634	△ 419	
	謝金支出	234, 937	293, 059	△ 58, 122	
1	租公課支出	34, 562	44, 819	△ 10,257	
	リース投資資産固定資産税支出	1, 080	1, 262	△ 182	•
	その他公租公課支出	33, 482	43, 557	△ 10,075	
	<b>払委託費支出</b>	674, 321	558, 545	115, 776	
	払事務委託費支出	4, 812	5, 678	△ 866	
ľ	払負担金支出	29, 228	31, 878	△ 2,650	
支持	払利息支出	4, 895	6, 557	△ 1,662	
広台	告宣伝費支出	8, 911	12, 439	△ 3,528	'
交际	<b>祭費支出</b>	284	424	△ 140	
雑乳	費支出	112	253	△ 141	
事美	業費支出 計	11, 175, 191	11, 194, 080	△ 18,889	
② 管理	<b>埋費支</b> 出	34, 718	24, 235	10, 483	•
役員	員報酬支出	4, 880	4, 763	117	
給料	科手当支出	14, 913	6, 686	8, 227	
退車	職給付支出	0	1,596	△ 1,596	
1	利厚生費支出	3, 018	2, 360	658	
1	費交通費支出	596	460	136	
1	ド品費支出 ・	392	380	12	
1	両費支出	198	5	193	
	刊製本費支出 	110	200	△ 90	
	義費支出	210	200	10	
	道光熱費支出	87	50	37	
	信運搬費支出	179	100	79	
	間図書費支出	10	100	0	
	港費支出	2,090	1, 400	690	
· ·	□日久□   料及び損料支出	2, 030 1, 599	1, 150	449	
1		65	1, 130	61	
	謝金支出	3, 563	3, 500	63	
1	租公課支出	800	3, 500	790	
1	拉委託費支出	518	175	343	
	拉事務委託費支出	510	50	. 0	
	拉争伤安乱真义山 払負担金支出 '	974	976		
1	公員担金文山 告宣伝費支出	10	10	0	
1	p 担心質又山 際費支出	256	100	156	
	宗有义山 費支出	200	50	150	
	理費支出計	34, 718	24, 235	10, 483	
1	理質又四訂 業活動支出 計	11, 209, 909			
1	東海東	△ 8, 583, 665	$11, 218, 315$ $\triangle$ 8, 592, 091	△ 8, 406 8, 426	
<u> </u>	尹未伯刿以人左似	$\triangle$ 0,003,005	∠ a, b92, 091	8,420	I

al la	and toler these		11. 44. 144. \	(単位:千円)
科目	予算額	前年度予算額	比較増減	備    考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				•
① 特定資産取崩収入	1, 700, 555	9, 139, 207	△ 7, 438, 652	
地域活性化基金取崩収入	520, 000	. 0	520, 000	
技術振興基金特定資産取崩収入	509, 705	0	509, 705	
債務保証基金特定資産取崩収入	304, 000	0	304,000	
情報化基盤整備基金取崩収入	300, 000	0	300, 000	
割賦販売債権預り保証金引当資産取崩収入	16, 408	21, 757	△ 5,349	
退職給与積立特定資産取崩収入	15, 130	32, 897	△ 17, 767	
ベンチャーファンド特定資産取崩収入	33, 825	49, 597	△ 15,772	
被災資金貸付事業準備金特定資産取崩収入	0	9, 000, 000	△ 9, 000, 000	
修繕積立金取崩収入	0	. 33, 327	△ 33, 327	
共済年金積立金取崩収入	906	1, 048	△ 142	
厚生資金貸付金返済収入	581	581	0	
②その他収入	39,000	0	39, 000	
その他有価証券取崩収入	39, 000	0	39, 000	
投資活動収入計	1, 739, 555	9, 139, 207	△ 7, 399, 652	
2 投資活動支出	1, 100, 000	0, 100, 201		
① 固定資産取得支出	971	0	971	•
構築物支出	971	0	971	
② 特定資産取得支出	1, 470, 744	541, 357	929, 387	
産業振興基金特定資産取得支出	1, 131, 725	041, 557	1, 131, 725	•
海風販売債権預り保証金引当資産取得支出	1, 131, 725	15, 000	. 1, 131, 120	
退職給与積立特定資産取得支出	12, 401	37, 011	△ 24,610	
貸与原資準備金特定資産取得支出	12, 401	14, 412	,	
	_		△ 14,412	
被災資金貸付事業貸倒引当金特定資産取得支出	300, 000	300, 000	0	
修繕積立金取得支出	10,000	0	10,000	
共済年金積立金支出	914	700	214	
新設備貸与事業基金特定資産取得支出	0	174, 000	△ 174, 000	•
新設備貸与事業貸倒引当金特定資産取得支出	704	234	470	
③ 厚生資金貸付金支出	1	Ţ	0	
厚生資金貸付金支出	1	1	0	
④ その他支出	501, 980	0	501, 980	
寄付金支出	501, 980	0	501, 980	
投資活動支出計	1, 973, 696	541, 358	1, 432, 338	
投資活動収支差額	△ 234, 141	8, 597, 849	△ 8,831,990	
  III   財務活動収支の部		,		
M				
① 借入金収入	1, 149, 580	1, 220, 600	△ 71,020	(注) 1
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	740,000	759, 000		(14-7 4
金融機関借入金収入	409, 580	461, 600	$\triangle$ 19,000 $\triangle$ 52,020	
財務活動収入 計	1, 149, 580	1, 220, 600	△ 71,020	
月 4为1口别从八 F	1, 149, 000	1, 220, 000	2 11,020	
2 財務活動支出			:	
① 借入金返済支出	1, 515, 096	1, 371, 479	143, 617	
具借入金支出 県借入金支出	1, 003, 338	896, 793	106, 545	
金融機関借入金支出	511, 758	474, 686	37, 072	
② リース債務返済支出	011,700	16, 586	· ·	
1	0	· ·	·	
リース債務返済支出	0	16, 586	△ 16,586	

(単位:千円)

				(十二:114)
科目	予 算 額	前年度予算額	比較増減	備考
財務活動支出 計	1, 515, 096	1, 388, 065	127, 031	
財務活動収支差額	△ 365, 516	△ 167, 465	△ 198,051	
当期収支差額	△ 9, 183, 322	△ 161, 707	△ 9,021,615	
前期繰越収支差額	23, 483, 731	9, 580, 178	13, 903, 553	
次期繰越収支差額	14, 300, 409	9, 418, 471	4, 881, 938	

## (注) 1 借入金限度額…28年度中において許容される借入の最高限度額 1,150,000,000円

2 債務負担限度額…28年度以降の各年度において許容される債務負担の最高限度額 55,868,800 円

(30年度13,992,000 円)(32年度20,526,400 円)(33年度21,350,400 円)

## 2. 資 金 収 支 予 算 書 内 訳 表

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

							(1)	
科目	公益目的	事業会計	法人	会計	内部取	引消去	合	<del>計</del>
	予算額	前年度予算額	予算額	前年度予算額	予算額	前年度予算額	予算額	前年度予算和
事業活動収支の部				<u>"</u>			,	
1 事業活動収入								
① 基本財産運用収入	0	0	6, 063	6, 063	. 0	0	6, 063	6,06
基本財産利息収入	0	0	1, 454	1, 454	0	0	1, 454	1,45
基本財産配当金収入	0	0	4, 609	4, 609	0	0	4, 609	4, 60
② 特定資産運用収入	607, 341	502, 942	0	0	0	0	507, 341	502, 94
特定資產利息収入	507, 341	602, 942	0	0	0	0	5 <b>07,</b> 341	502, 94
③ 事業収入	1, 275, 137	1, 614, 390	2, 150	15, 809	0	0	1, 277, 287	1, 630, 1
設備資金貸付金回収収入	266, 219	189, 644	0	0	0	. 0	266, 219	189, 6
割賦販売債権収入	115, 228	167, 574	0	0	0	0	115, 228	157, 5
割賦設備収入	107, 960	149, 493	0	. 0	0	0	107, 960	149, 4
割赋損料収入	7, 268	8, 081	0	0	0	0	7, 268	8, 0
割賦設備債権預り保証金収入	15, 000	15, 000	0	0	0	0	15,000	15,0
リース料収入	3, 248	6, 243	0	0	0	0	3, 248	6, 2
再リース料収入	3, 569	4, 830	, 0	. 0	0	0	3, 569	4, 8
保険代理手数料収入	0	0	150	162	0	0	150	1
投資有価証券売却収入	13,000	36, 800	0	0	0	0	13, 000	36, 8
投資有価証券受取収入	3, 440	5, 100	0	0	0	0	3, 440	5, 1
社債受取利息収入	3, 440	Б, 100	0	0	0	0	3, 440	5, 1
委託料収入	842, 019	1, 189, 029	2,000	15, 647	0	0	844, 019	1, 204, 6
リース投資資産売却収入	109	147	0	0	0	0	109	1
未収割賦損料回収収入	0	147	0	0	0	0	0	1
未収割賦販売債権損害賠償企回収収入	13, 305	9, 876	. 0	0	0	0	13, 305	9,8
④ 補助金等収入	681, 963	355, 329	15, 480	3,725	0	0	697, 443	359,0
県補助金収入	444, 651	343, 028	15, 480	3, 725	0	0	460, 131	346, 7
国補助金収入	229, 680	3, 600	0	0	0	0	229, 680	3, 6
助成金収入	7, 632	8, 701	0	0	0	0	7, 632	8, 7
⑤ 負担金収入	112, 260	116, 615	8,100	0	△ 5,000	0	115, 360	116, €
負担金収入	112, 260	116, 615	8,100	0	△ 5,000	0	115, 360	116, €
⑪ 雑収入	20, 072	11, 288	2, 678	63	0	0	22, 750	11, 3
受取利息収入	292	472	0	0	0	0	292	4
雑収入	19, 780	10, 816	2, 678	63	0	0-	22, 458	10, 8
⑦ 他会計からの振替	106, 521	14, 308	0	0	△ 106, 521	△ 14,308	0	
復興相談センター事業からの振替	18, 000	13,000	0	0	△ 18,000	△ 13,000	0	
経営改善センター事業からの振替	3, 000	1, 200	0	0	△ 3,000	△ 1,200	0	
支援センター事業からの振替	0	51	0	0	0	△ 51	0	
債務保証事業からの振替	84, 004	. 0	. 0	0	△ 84,004	0	0	
技術振興基金事業からの振替	1, 517	57	0	0	△ 1,617	△ 57	0	
事業活動収入 計	2, 703, 294	2, 614, 872	34, 471	25, 660	△ 111,521	△ 14,308	2, 626, 244	2, 626, 2
2 事業活動支出						,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
① 事業費支出	11, 180, 191	11, 194, 080	0	0	△ 5,000	0	11, 175, 191	11, 194, 0
股備資金貸付金支出	9, 000, 000	9, 000, 000	0	О	0	0	9,000,000	9, 000, 0
割賦設備購入支出	160,000	150,000	0	О	0	0	150, 000	
割賦販売債権頂り保証金返還支出	16, 408	35, 298	0	0	0	0	16, 408	35, 2
機械類信用保険預り金返還支出	427	558	0	0	0	0	427	ŧ
助成金支出	290, 828	180, 644	0	0	△ 5,000	0	286, 828	180, 6
役員報酬支出	6, 112		0	0	0	0	6, 112	6,0
給料手当支出	322, 094	302, 588	0	0	0	0	322, 094	302, 5
給料負担金支出	75, 900		0		0		75, 900	<u> </u>

科目	公益目的	事業会計	法人会計		内部取	引消去	合	<b>計</b>
	予算額	前年度予算額	予算額	前年度予算額	予算額	前年度予算額	予算額	前年度予算額
賃金支出	7, 987	11,565	0	0	0	0	7, 987	11, 565
退職給付支出	18, 979	38, 663	0	0	0	0	18,979	38, 663
福利厚生費支出	80, 840	79, 770	0	0	. 0	0	80, 840	79, 770
旅費交通費支出	64, 156	60, 197	0	0	0	0	64, 156	60, 197
消耗品費支出	14, 174	20, 030	0	0	0	0	14, 174	20, 030
車両費支出	6, 364	7, 222	0	0	0	0	6, 364	7, 222
印刷製本費支出	11, 165	10, 078	0	0	0	0	11, 165	10, 078
会義費支出	1,776	1, 240	0	0	0	0	1,776	1,240
水道光熱費支出	31, 623	31, 190	0	0	0	0	31, 623	31, 190
通信運搬費支出	12, 438	12, 782	0	. 0	0	. 0	12, 438	12, 78
新聞図書費支出	1,769	1, 901	0	0	0	0	1, 769	1, 90
修繕費支出	1, 395	1, 227	0	0	0	0	1, 395	1, 22
借料及び損料支出	72, 459	80, 425	0	0	0	0	72, 459	80, 42
リース損害保険料支出	20	47	0	0	0	0	20	4'
保険料支出	1, 215	1,634	0	0	0	0	1,215	1, 63
<b>諸謝金支</b> 出	234, 937	293, 059	0	0	0	0	234, 937	293, 059
公租公課支出	34, 562	44, 819	0	0	0	0	34, 562	44, 81
リース投資資産固定資産税支出	1,080	1, 262	0	0	0	0	1,080	1, 26
その他公租公課支出	33, 482	43, 557	0	0	0	0	33, 482	43, 55
支払委託費支出	674, 321	558, 545	0	0	0	. 0	674, 321	558, 54
支払事務委託費支出	4, 812	5, 678	0	0	0	0	4,812	5, 67
支払負担金支出	29, 228	31, 878	0	0	0	0	29, 228	31, 87
支払利息支出	4, 895	6, 557	0	0	0	0	4, 895	6, 55
広告宣伝費支出	8, 911	12, 439	0	0	0	0	8, 911	12, 43
交際費支出	284	424	0	0	0	0	284	.42
雑費支出	112	253	0	0	0	0	112	26
② 管理費支出	0	0	34, 718	24, 235	0	0	34, 718	24, 23
役員報酬支出	0	0	4, 880	4, 763	0		4, 880	4,76
給料手当支出 	. 0	0	14, 913	6, 686			14, 913	6, 68
退職給付支出	0	0	0		0		0	1, 59
福利厚生費支出		0	3, 018	2, 360	0	1	3, 018	2, 36
旅費交通費支出	0	0	596		0	· ·····	596	46
消耗品費支出	0	0	392		0		. 392	38
車両費支出	0	0	198		. 0	-	198	
印刷製本費支出	0	0	110		0		110	20
会離費支出	0	,	210		0		210	20
水道光熱費支出 	0	0	87		0		87	
通信運搬費支出	0	. 0	179	1	0		179	10
新開図書費支出	0	-	10	<b>!</b>	0		10	
修繕費支出	0	0	2, 090		0		2,090	
借料及び損料支出	0	0	1, 599		0		1, 599	1,16
保険料支出 		0	65		0		65	
<b>賭謝金支</b> 出	.	0	3, 563	1	0		3, 563	3,50
公租公課支出	0	0	800	-	0		800	
支払委託費支出	0	О	518		0		518	
支払事務委託費支出	0	0	50		0		50	
支払負担金支出	0	0	974	1	C		974	
広告宣伝費支出	. 0		10	-	C			
交際費支出	0	H	256			+		
<b>維費支出</b>	0	0	200					
③ 他会計への振替	106, 521	14, 308	0	·	△ 106, 521			
機械類貸与事業への振替	100, 004	12, 000	0	0	△ 100,004	△ 12,000	0	
支援(事業) センターへの振替	5, 000	2, 200	C	0	△ 5,000	△ 2,200	0	
産業振興基金事業への振替	1, 517	0	C	0	△ 1,517	0	0	
外国出願事業への振替	0	108	C	0	(	△ 108	0	
事業活動支出 計	11, 286, 712	11, 208, 388	34, 718	24, 235	△ 111,521	Δ 14, 308	11, 209, 909	11, 218, 31
事業活動収支差額	△ 8, 583, 418	H	<u>∠</u> 247	l	. (		△ 8, 583, 665	△ 8, 592, 09

科目	公益目的事業会計		法人会計		内部取引消去		合	<del>1</del> .
	予算額	前年度予算額	予算額	前年度予算額	予算額	前年度予算額	予算額	前年度予算額
Ⅱ 投資活動収支の部								,
1 投資活動収入								
① 特定資産取崩収入	1, 700, 555	9, 137, 957	0	1, 250	0	0	1, 700, 565	9, 139, 207
地域活性化基金取崩収入	520, 000	0	0	0	0	0	520, 000	0
技術振興基金特定資産取崩収入	509, 705	0	0	0	0	0	509,705	0
債務保証基金特定資産取崩収入	304, 000	0	0	0	0	0	304, 000	0
情報化基整整備基金取崩収入	300, 000	0	0	0	0	0	300, 000	0
割賦販売債権預り保証金引当資産政崩収入	16, 408	21,767	0	0	0	0	16, 408	21,757
退職給与積立特定資産取崩収入	15, 130	31, 647	0	1, 250	0	0	15, 130	32, 897
ペンチャーファンド特定資産取崩収入	33, 825	49, 597	0	0	0	0	33, 825	49, 597
被災資金貸付事業準備金特定資産取崩収入	0	9, 000, 000	0		0		. 0	9,000,000
修繕積立金取崩収入	0	33, 327	0		0	:	0	33, 327
共済年金積立金取崩収入	906	1, 048	0		0		906	1,048
厚生資金貸付金返済収入	581	581	0		0		581	681
② その他収入	39, 000	0	0		0		39, 000	C
その他有価証券取崩収入	39, 000	0	0	0	0		39, 000 1, 739, 566	9, 139, 207
投資活動収入 計	1, 739, 555	9, 137, 967	0	1, 250	0			
2 投資活動支出								
① 固定資産取得支出	0	0	971	0	0	0	971	C
<b>樽築物支</b> 出	0	0	971	0	0	. 0	971	C
② 特定資産取得支出	1, 469, 901	539, 778	843	1,579	0	0	1, 470, 744	541, 357
產業振興基金特定資產取得支出	1, 131, 725	0	0	0	0	0	1, 131, 725	· c
割賦販売債権預り保証金引当資産取得支出	15,000	15, 000	0	0	0	0	15,000	15,000
退職給与積立特定資運取得支出	11,558	35, 432	843	1, 579	0	0	12, 401	37,011
貸与原資準備金特定資産取得支出	0	14, 412	0	0	0	0	0	14, 412
被災資金貸付事業貸倒引当金特定資訊取得支出	300, 000	300, 000	0	0	0	.0	300,000	300, 000
修繕積立金取得支出	10,000	0	. 0	. 0	0	0	10,000	, d
共済年金積立金支出	914	700	0	0	. 0	0	914	700
新設備貸与事業基金特定資產取得支出	0	174, 000	0	0	0	0	0	174, 000
新股偏貨与事業貸倒引当金特定資產取得支出	704	234	0	0	0	0	704	234
③ 厚生資金貸付金支出	1	. 1	0	0	0	0	1	1
厚生資金貸付金支出	1	1	0	0	. 0	0	1	1
④ その他支出	501, 980	0	0	0	0	0	501, 980	0
寄付金支出	501, 980	0	0	0	0	0	501,980	C
投資活動支出 計	1, 971, 882	539, 779	1,814	1,579	0	0	1, 973, 696	641, 358
投資活動収支差額	△ 232, 327	8, 598, 178	△ 1,814	△ 329	0	0	△ 234, 141	8, 597, 849
Ⅲ 財務活動収支の部	-							
1 財務活動収入								· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
① 借入金収入	1, 149, 580	1, 220, 600	0	0:	0	0	1, 149, 580	1, 220, 600
<b>具借入金収入</b>	740, 000	759,000	0		0	o		
金融機関借入金収入	409, 580	461,600	0		0			ŧ
財務活動収入 計	1, 149, 580		0	ļ	0			1, 220, 600
2 財務活動支出	-, 110, 000	2, 220, 000	0		U		n	,, 440, 500
① 借入金返済支出	1, 515, 096	1, 371, 479	0	. 0	0	0	1, 516, 096	1, 371, 479
県借入金支出	1,003,338	896, 793	0		0			i
金融機関借入金支出	511, 758		0		0		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	i
②リース債務返済支出	011, 106		0		0			16, 586
リース債務返済支出	0	16, 586	. 0					16, 586
	1 515 000		. 0		. 0			
財務活動支出計	1,515,096				0			
財務活動収支差額	△ 365, 516	△ 167, 465	0 0 0 0 0		0			
当期収支差額	△ 9, 181, 261	△ 162, 803	△ 2,061	1,096	0			
前期繰越収支差額	23, 481, 328	9, 578, 871	2, 403	1, 307	0	i	23, 483, 731	9, 580, 178
次期繰越収支差額	14, 300, 067	9, 416, 068	342	2, 403	0	0	14, 300, 409	9, 418, 4